

01 正確な情報収集を

町では、台風など大雨時などの災害時にさまざまな手段で、災害に役立つ情報を皆様に発信しています。

町から直接発信される次の①～③の情報取得するだけでなく、一般のテレビ、ラジオや④のエリアメールなどでも情報を取得するようにし、避難の判断に生かしてください。

①防災行政無線（屋外スピーカー）

町内の18か所に設置したスピーカーから、緊急地震速報や避難勧告などの情報を放送します。

②ケーブルテレビ緊急放送

ケーブルテレビのとよまチャンネル（11チャンネル）で警報の発令状況や避難所の開設状況などをお知らせします。

③豊山町安心・安全メール

防災情報、避難所開設や地震に関する情報などを配信します。

（登録料は無料。ただし、メールの通信料は利用者負担。）

登録は二次元バーコードを読み取り、空メールを送信してください。



④緊急速報エリアメール

携帯電話の事業者（NTTドコモ、au、ソフトバンク）が、緊急地震速報や災害・避難情報などを一斉に電子メールで配信します。詳細は各携帯電話会社におたずねください。

中部電力 停電情報アプリについて

災害発生時等に停電が発生した際に、スマホアプリでのプッシュ通知によるお知らせをご利用いただけます。

登録した地域の停電情報をプッシュ通知でいち早くお知らせし、チャットで電気に関する相談ができるアプリです。

[App Store]か[Google Play]から「停電情報お知らせサービス」で検索のうえ、アプリを入手してください。



災害に備えて 正しい知識があなたを守る

02 命を守るための避難行動

避難の心がまえ

① 正確な情報収集と自主避難

テレビ、ラジオ等から最新情報を積極的に入手し、雨の降り方や浸水状況により危険を感じたら自主的に避難する。

② 非常持ち出し品の準備

避難時の持ち物は必要最低限とし、事前に準備しておく。

③ 電気、ガス栓は止める

避難する前に電気やガスなどの元栓をしめる。

④ 身軽な格好で

動きやすい服装、靴で避難する。

⑤ 2人以上で避難する

2人以上の複数で避難し、避難場所等を近所や親戚に知らせしておく。

⑥ 要配慮者避難に協力を

お年寄りや子ども、病気の人は、早めの避難が必要。ご近所のお年寄りなどの避難に協力する。

⑦ 車での避難は避ける

緊急車両の通行の妨げとなったり、交通渋滞を招くため、特別な場合を除き徒歩で避難する。

⑧ 逃げ遅れた時は

万が一、避難が遅れ危険が迫ったときは、近くの丈夫な建物の2階以上に逃げる。

知らないといけない！ 避難方法の違い



水平避難

例…避難所などへ移動



垂直避難

例…自宅内の高いところへ移動

災害時の避難では、避難所へ移動（水平避難）することが一般的に考えられがちです。しかし、大型台風や集中豪雨時では、道路が冠水した中での屋外への移動はかえって危険な場合もあります。自宅内の高い所に移動（垂直避難）した方が安全な場合があります。自宅に残るべきか、避難所に避難すべきかを早めに判断することが重要です。警戒レベルを参考に早めの避難判断を行ってください。